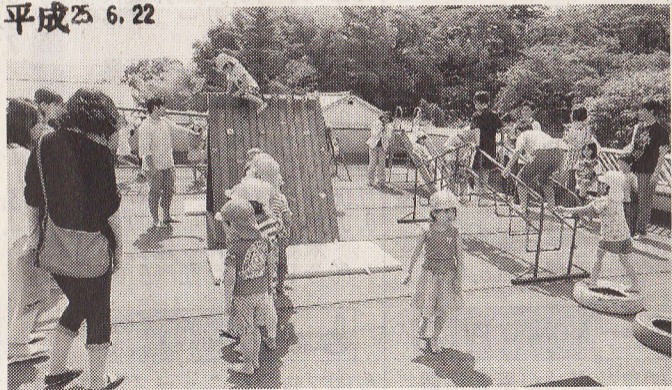


足意識した生活へ 認識深める

倉吉幼稚園 土踏まず・下顎形成研究発表会

平成25 6.22



発表会で公開された屋上広場での足遊びの様子

土踏まずと下顎の形成の取り組みを通して丈夫な体づくりを進めている倉吉幼稚園（西田直美園長）の「第5回自主公開研究発表会」が8日、倉吉市仲ノ町の同園で開かれた。保護者や他の幼稚園関係者など200人を超える参加者があり、園の取り組み成果について認識を深めた。

この日は屋上広場での足遊びを公開し、手作りのクライミングウォールを使った遊びを初披露。続いて新潟医

療福祉大学大学院の阿部薫教授が「母と子のための足と靴の新情報」をテーマに講演し、8歳までに足の骨が形成される点を解説したほか、幼児期から足に合った靴を選ぶ重要性などを分かりやすく説明。阿部教授の実演を交えた講演に参加者は熱心に聴き入っていた。

午後は「子どもの心身は“足”と“歯”がつくる！」と題してシンポジウムを行い、積極的に意見を交換。阿部教授が足の健康チェックを行い、トラブルの原因や改善点などを細かくアドバイスしていた。参加者は「足のゴールデンタイムを逃さず、今後も子どもの足を意識した生活をしていきたい」などと話し、幼児期の正しい教育と環境について理解を深めていた。